

かけ橋

第16号

2000年11月27日発行



新潟国際ボランティアセンター事務局
951-8126 新潟市学校町通2番町5293番3
学校町ビル4F

Phone & Fax: 025-222-7899

今年も新記録！



第12回愛のかけ橋バザーが、10月21・22の両日開催されました。今年も多くのボランティアスタッフやお客様・協力者の皆様に支えられ、過去最高の収益を上げることができました。巷の景気はへとやら・・・国際協力の輪は確実に広がっています！

第12回愛のかけ橋バザー会場（10月21日・新潟中郵便局3F）

CONTENTS.....

バザー協力者名簿 2

特集 第12回 愛のかけ橋バザー 4

スタッフにインタビュー！

アンケート結果より

ご意見・ご感想

「第12回愛の架け橋バザー 大盛況に終える」 野水和行 副代表

Hot News 14

「NVC地球を知る講座」開催報告 関 一弥 運営委員

ベトナムミニプロジェクト（キークワン寺洗濯機支援）活動報告 小林伸子 運営委員

クリエイティブ2021バザー参加レポート 関 洋介 運営委員

ベトナムスタディツアーレポート 富山大学 細川拓也さん

にいがた地球市民フェスティバル参加報告 安達実夏 湖会員

「新潟アジア文化祭2000」に参加して 小野裕子 会員

リレー・トーク ～ NVC's Human Network ～ 18

小林伸子さん / 清水智子さん / 福永憲昭さん / 野水和行さん

事務局だより 20

新潟発の国際貢献・・・NVC第12回愛のかけ橋バザーご協力ありがとうございました

<郵便局関係>

新潟中郵便局
新潟中央郵便局
新潟女池郵便局
新潟姥ヶ山郵便局
新潟小針郵便局
新潟中島郵便局
新潟米山郵便局
新潟松浜郵便局
新潟秋葉町郵便局
新潟堀の内郵便局
新潟関屋本村郵便局
新潟有明台郵便局
新潟紫竹郵便局
新潟物見山郵便局
新潟牡丹山郵便局
新潟東中通郵便局
新潟県庁内郵便局
新潟本町13番郵便局
新潟本所郵便局
新潟石山郵便局
新潟本町三郵便局
新潟西大畑郵便局
鹿瀬郵便局

日本興行銀行新潟支店
安田信託銀行新潟支店
新潟信用金庫
ダスキン万代
亀田製菓
リンコーコーポレーション
グリーンシグマ
ホテル新潟
アサヒビール新潟支店
石井商店
市島酒造
ウオシヨク
大澤商店
大沢屋
小川屋
小川
尾畑酒造
鹿島建設北陸支店
神田商店
キーコーヒー新潟営業所
北日本工芸
キリンビール新潟支社
後藤プロダクション
サッポロビール新潟支社
三愛サービス
サントリー新潟支店
サンライフ
鯨政
鈴木コーヒー
洗缶フジタ
大栄魚類
高瀬物産新潟支店
中越商事
とん八
中野食肉店
中野良雄商店
新潟伊勢丹

新潟県厚生事業協同公社
新潟ニッタン
新潟日の出タクシー
念吉
白新商会
橋本食肉店
富士タクシー
扶桑電通新潟営業所
文武堂
細山商店
丸屋本店
三島屋青果
峯村商店
ヤマト厨房設備
山二ツ動物病院
横木造園
横場精良堂
エヌエスケイ
リンベル
ルミネ
新発田城カントリークラブ
ヤマハミュージック
原田乳業
住友生命新潟支社
新発田支部
新津支部
新潟中央支部
黒崎法人支部
新新潟支部
城東支部
新城支部
五泉支部
城南支部
新潟法人支部
巻支部
大通支部
県都支部

西新潟支部
福田組
沢井化粧品店
NTT労組
うつわの小笹
新潟交通
新潟中央青果
丸一新潟青果
NTT新潟支店
雁わたる会
AFS新潟支部
連合新潟三条加茂地域協議会
連合新潟
全通新潟
豊栄職労
アビの会
新潟エネルギー大学前店

<大学・学校関係>
新潟大学
新潟国際情報大学
県立女子短期大学
早稲田大学
富山大学
豊栄高校
白根市立小林小学校

<マスメディア>
NHK
NT21
BSN
新潟日報
産業経済新聞
市報にいがた
市報にいつ
市報豊栄
町報亀田

<地方自治体関係>

新潟県庁職員有志
新潟県国際交流協会
新潟市役所職員有志
JA白根市

<企業・団体>

クリエイティブ2021
通信病院有志
総合生協
新潟ゼロックス
第四銀行本店

<個人・会員>

Eyrun
Sigmundard
青木 陽子
赤城 敬子
秋山 恵
浅井 康雄
浅岡 香野子
浅立 達男
飛鳥井 義樹
畔柳 久太郎
安達
安達 智枝子
安達 美佐絵
安達 実夏湖
阿部 亜希奈
阿部 絵美
阿部 測行
阿部 はる奈
阿部 眞佐身
阿部 美恵子
阿部 由桂
阿部 義利
阿部 道子
有賀 寿美子

安藤 哲也
イーオン
ウッド
五十嵐 瑛
五十嵐 紀美栄
五十嵐 純夫
五十嵐 英行
五十嵐フサ子
幾見 宗吉
幾見 泰宗
石井 美香
石井 玲子
石川 季美子
石川 恭子
石川 静代
石崎 和子
石田 篤司
石田 まさ子
石高 真理子
石名 ユリ子
石橋 記子
石附 敏弥
石山 純子
居城 勝之
磯部 春昭

市川 三枝
市川 務
伊藤 重明
伊藤 哲
伊藤 俊子
伊藤 ミチイ
伊藤 ゆみ子
伊藤 百合子
稲垣 由紀子
稲庭 左武郎
稲葉 貴裕
稲宮 昌子
今井 愛子
今井 一絵
今井 三穂子
今井 康容
今田 恒正
岩崎 真喜子
岩崎 真紀子
植木 和子
上島 ゆかり
上田 純子
内田 禎美
内田 洵子
内田 トシエ

内田 藍子
内田 恵美子
江田 義弘
江田 義広
海老沼 敏夫
遠田 久子
遠藤 久子
遠藤 ミイ子
大浦 慶太郎
大杉 りさ
大竹 幸一
大竹 康子
大谷 晶
大野 貴弘
大野 一伊
大原 彩子
大見 真砂子
大森 陽
岡 美恵子
岡沢 美也子
小川 禎美
小川 ミサヲ
小串 定子

小熊 奈美
小熊 博
小田 祥子
小野 愛
小野 かおり
小野 弘子
小野 裕子
小野内 民夫
小柳 繁
小山 直子
小山 裕久
小山 美奈
小山 美春
風間 理恵
櫻野 公子
柏谷 佐智子
片岡 千晶
片桐 早苗
加藤 健太
加藤 政
加藤 貴史
加藤 崇
加藤 麻紀
加藤 陽子

金鞍 ゆう子
金子 和子
金子 みはる
金子 有子
金子 洋二
刈谷 奈津子
川上 麻貴
川口 鎮雄
川口 弥生
川口 真由美
川口 文代
川久保 祐子
川崎 由貴
川瀬 英雄
川瀬 誠
河野 英子
神田 淑子
神田 毅
北村 佳代子
北村 忠雄
北村 ヨリ
北村 泰
木野 茂樹
清田 麗子
桐山 カツ子

桐生 裕子
久須美 朝子
熊谷 直大
熊倉 辰夫
熊倉 美穂子
倉茂 真智子
倉島 淳子
倉田 洋子
倉地 広子
栗田 郁人
黒澤
小池 道子
小池 泰子
小坂 栄子
高坂 征美子
幸田 安希子
幸村 重弥
小酒井 勝子
奥田 誠子
児玉 眞早子
後藤 亜希子
小林 岩雄
小林 恭子

須磨 栄子
清田 啓子
清野 玲子
関 一弥
関 柳子
関 洋介
関根 洋祐
関谷 秀人
相馬 早苗
袖山 由美子
曾根 真知子
多賀 秀敏
高井 茂雄
高井 誠雄
高井 恵子
高島 敬子
高田 琳子
高野 紀子
高橋 綾子
高橋 節子
高橋 真奈
高橋 美和子
高橋 恵子
桜井 夏樹
桜井 富士子
桜井 優
佐々木 英樹
笹木 信次
佐々木ななえ
佐々木美代子
佐藤 京子
佐藤 清子
佐藤 幸子
佐藤 啓
佐藤 俊躬
佐藤 正
佐藤 信幸
佐藤 のり子
佐藤 文子
佐藤 美保
佐藤 みよ子
佐藤 雄二
佐藤 芳美
佐藤 與悦
澤田 優子
三枝 さち子
三枝 素子
嶋田 正義
嶋田 真千代
島津 真由美
白井 初美
白川 有希
白川 有希
秦 スミ子
進 直一郎
新保 正美
須貝 嘉勝
菅井 みち子
杉田 宏美
鈴木 千恵子
鈴木 奈美
須藤 みちよ
須藤 裕美

内藤 文子
内藤 美和
永井 亜弥
中川 征二
長沢 望
長野 千一
中野 律子
仲村 金彦
中村 幹夫
中矢 澄子
中矢 義博
中山 亜希子
中山 晴男
二階堂 英子
西方 純夫
西村 智奈美
西村 浩美
西村 レイ子
西山 公子
西山 孝子
ニシャリン
アカラボン
馬場 隆史
早川 康子
速水 裕
原田 平作
原山 美幸
坂 有祈子
番場 博子
樋口 敬子
百々 猛
平沢 イツ
平野 綾子
平野 清明
平野 ヨシイ
平山 弘子
平山 友紀子
樋渡 正明
深田 紀美代
福田 忠弘
福田 ふじ子
福永 憲昭
藤井 ひとみ
藤崎 千代子
藤沢 浩一
町屋 アサ子
町屋 隆
松井 昭子
松浦 直人
松沢 悦子
松本 昭子
松本 剛史
松本 丸山
丸山 和枝
丸山 富美
丸山 久美子
丸山 仁
三浦 高義
三浦 真
三浦 百合子
水落 龍太郎
水谷 研
水野 皆川
皆川 朋美
峯村 康明
宮 栄承
宮崎 俊磨
山下 仁巳
山田 晃
山田 栄子
山田 和子
山田 稔
山田 真由香
山田 陽子
山根 晴子
山本 まゆみ
山本 美保子
横尾 利平
横山 謙一
吉川 由里
吉田 悦子
與田 誠子
李 相福
和永田 ヨミ
若杉 幸雄
若槻 章
若槻 恵美子
和田 千春
渡辺 幸江
渡辺 静江
渡辺 富子
渡辺 文夫
渡辺 平八郎
渡邊 麻香
渡邊 守
渡部 ぶさ子
渡部 まゆみ
相座 夏希
古保 千鶴
中山 健太
朝妻 康行
斎藤 良
新津 ぶくみ
井浦 早弥香
斎藤 博貴
萩原 あかね
石田 欽一
斎藤 洋平
長谷川 澄
磯野 和久栄
坂井 香世子
長谷川 匠
板津 雅博
坂上 温子
長谷川 亮
市川 佳和
坂本 英樹
長谷川圭介
一宮 隆哉
佐藤 恵三
原 茂嗣
上田 史門
佐藤 暢尚
原田 奈保子
氏田 梨絵
佐藤 信夫
平松 真由子
遠藤 大輔
佐野 陽一
福井 沙織
大石 誠一郎
塩練 大二

2000年10月21・22日に開催されましたバザーに対し商品のご提供、収集、10月17・18・19・20日の会場設営と値段つけ、当日の売り子、ご寄付、会場・備品貸与など、今年も本当に多くの方々からあたたかいご協力を賜りました。ここに名簿を作成し厚く御礼申し上げます。当名簿は、お書き下さった協力者名簿に基づいております。順不同・敬称略でございます。不手際により名前の掲載漏れがございましたら、どうかお許しください。またお気づきの点がございましたら、NVCバザー実行委員会までお聞かせ願います。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

スタッフにインタビュー！

一体、どんな人達が、どんな思いでこのバザーを運営しているのでしょうか？
今回は、近頃NVCパワーの中核となりつつある若い人達を中心にインタビューしてみました。

長谷川杏里さんと山際敦さんのお二人は、1ヶ月前から毎日事務局に通い、交代で商品の受け付けなどをして下さいました。

長谷川 杏里さん

10月22日 バザー会場にて



まずは自己紹介を。

新潟国際情報大学の4年生で、東南アジア研究を専攻しています。「国際交流会」というサークルがあり、前は代表をやっていました。

ご就職が決まったそうで・・・。

ありがとうございます(笑)。社会人になっても、NVCの活動は続けるつもりです。

今回のバザーについてのご感想を。

バザーの約1ヶ月前から、私が午後1時まで、それ以降を山際さんが担当し、事務局に居て電話番号と提供商品の受け付けをしていました。最初はあまり反応がなかったのですが、10月に入ってから忙しかったですね。電話を下さるのは圧倒的に主婦の方です。電話の対応をされていてひとつ気になったのは、商品提供者にバザーの主旨がきちんと伝わっていないのではないかと言うこと。収益を「何に使うのか？」と聞かれるわけでもなく、中には単に「要らない物があるから引き取ってほしい」という感じの方も多くて、その意味ではもっとPRの仕方を工夫しても良いのではないかと思います。

最近のNVCは、学生さん達が活躍していますよね。

NVCを通じて他大学の皆さんと交流ができ、互いにいい刺激を与え合う関係ができてい



奥田 誠子さん 10月21日 バザー会場にて

去年の8月ベトナムへのスタディツアーに参加し、共感を覚えて会員になりました。それまでは主に東京のNGOの会員として活動していたのですが、地元こんなボランティア団体があるのならぜひ参加したい、と思いました。

このバザーはすごい集客力ですね。それと、誰でも気軽に参加できる場所がいいです。こうした活動は、これからどんどん大きくなっていくのではないのでしょうか？



山際 敦さん 10月20日 NVC事務局にて

今回、どんなことを担当されたんですか？

9月18日から、午後の電話対応と商品の受取りや回収の手配をここ(事務局)でやっていました。

やっていた感じたことは？

NVCの活動が広がっていると感じました。特に、「新聞を見た」とか「TVを見た」という方が多く、メディアの力って大きいんですね。10月に入ってから、特に直前の一週間はひっきりなしに電話が来ました。

商品提供の電話をくださるのは年輩の主婦の方が多く、「ボランティアで手伝いたい」というのは若い方達です。ほんの些細なことでも、何か協力できればと連絡を下さるのが嬉しかったですね。もちろん、連絡を下さる方のスタンスは様々ですが、それはそれで良いと思っています。

NVCと関わるようになったのは？

「国際交流会」という大学のサークル活動を通じてNVCと関わるようになりました。バザーへの参加は今年で4回目です。

現在、このバザーがNVC最大のイベントになっていますが、それ以外のアプローチがもっとあってほしいんじゃないでしょうか。

山際さんがその辺を切り開いていくとか？

ええ、まあ(笑)。とりあえず、来年この仕事を引き継いでくれる人がいてほしいです(笑)。(山際さんは現在4年生。就職活動の真っ最中であるにも関わらず、この大仕事を引き受けてくださいました。)

会員じゃなくても
手伝えるんだよ！



県立女子短大で環日本海研究を専攻する3人。ゼミの先生からバザーのことを知り、当日スタッフとして参加して下さいました。

10月21日 バザー会場にて

国際協力には以前から興味がありました。身近なところでできることなので、ぜひ、と思って参加しました。

去年も参加し、楽しかったのでまた来ました。

ボランティアをやってみたくて、初めて参加しました。

豊栄市の高校生です。学校で、先生からバザーのことや、ベトナム・バングラデシュへの寄付のことを聞きました。自分にできることがあれば協力したいと思い、一人でボランティアに申し込みました。

10月22日
バザー会場にて



お客様アンケートより

2日間のバザー開催中、会場を訪れたお客様からアンケートにご協力いただきました。貴重なお客様の声には、今後のバザーのあり方や方向性に対するヒントがたくさん詰まっています。

調査方法

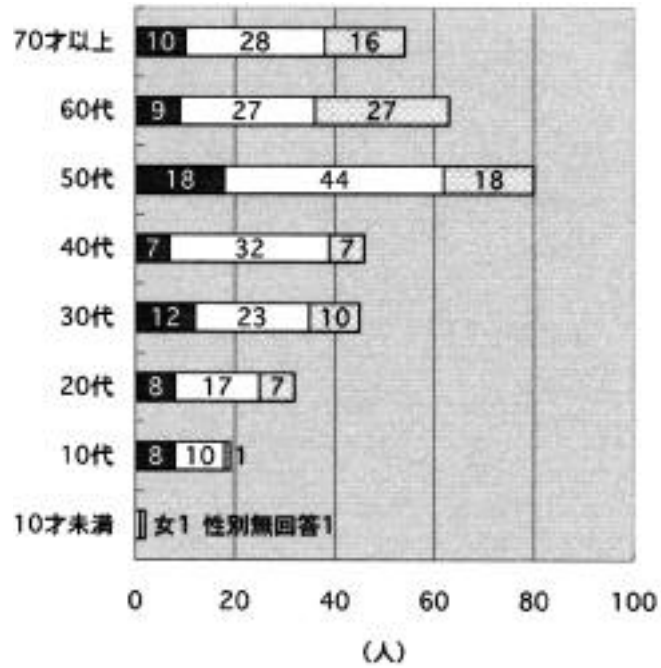
予め用意したアンケート用紙を、右記の時間に各60枚ずつ会場の出入り口で配り、その場で回収箱に入れていただきました。

配布時間

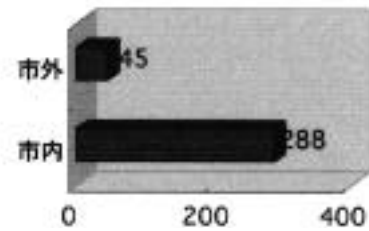
1日目(10/21) 10:00 13:00 16:00
2日目(10/22) 10:00 13:00 15:00

配布数：342 回答数：342
有効回答率：100%

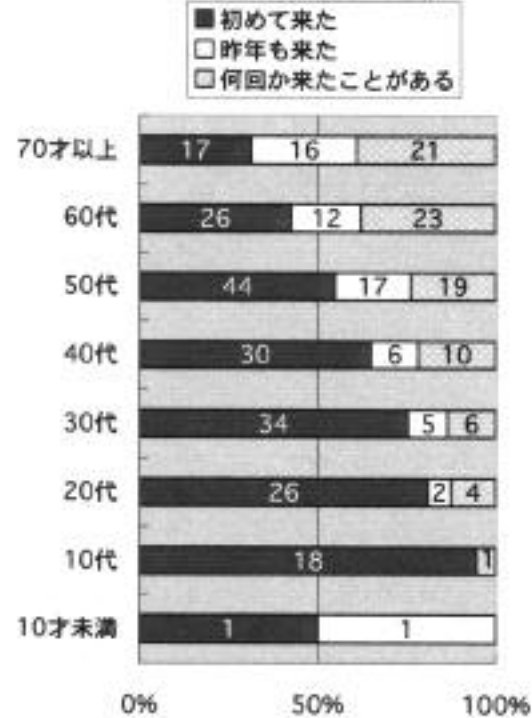
アンケート回答の年代・性別集計



どこから来ましたか？



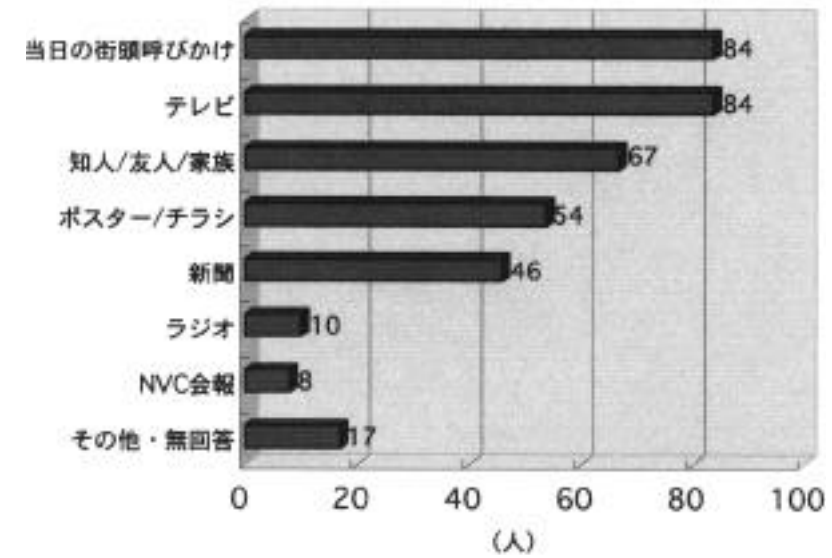
年代別のリピート傾向
(グラフ内の数字は人数)



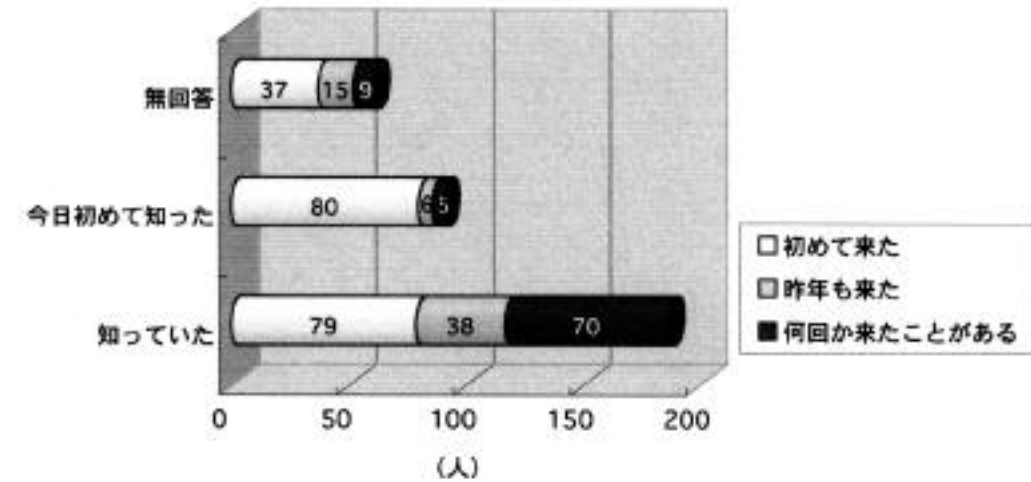
NVCのバザーに来たのは何回目ですか？



今回のバザーを何で知りましたか？



あなたは、このバザーの収益が、アジアで困っている人々のために使われることを知っていましたか？



上記の他、「会場はここで良いですか？」という問いに対し、315人(92.1%)の方が「ここで良い」との回答を下さいました。「他の会場がいい」とした方の具体的な希望としては、

- 駐車場のあるところ(5人)
- デパート(2人)
- もっと目立つ(わかりやすい)ところ(2人)
- もっと広いところ(1人)
- 大通りや市などの公共施設(1人)
- わかりづらいので1Fが良い(1人)
- ネクスト21(1人)
- 屋外(1人)
- 新潟市体育館(1人)
- 東京の武道館(1人)

などの声がありました。

ご意見・ご感想

お客様アンケートに「ご意見・ご感想・NVCへのメッセージなどをご自由にお書きください」という設問

を設けたところ、かなりの方がお言葉を記して下さいました。その他、当日行ったインタビューも含めて、貴重なご意見・ご感想を一部ですがご紹介します。

ありがとうございます！

励ましのメッセージ

知人から聞いて初めて来たのですが、規模が大きくてビックリしました。(50代女性)

趣旨もよく、若い方々が一生懸命やっておられるのに大変好感が持てました。(40代女性)

こちらのバザーの商品はいいものがそろっているので毎回楽しみに来ています。又して下さい。来ますので。(50代女性)

とてもよい催し物ですから、年2回~3回でもよいです。(60代女性)

人が安心してらせるように、みんなの力で世の中をよくしていきましょう。(40代女性)

頑張ってください。ほんの気持ちでバナナをいただきました。(30代男性)

新潟に来て7年ですが、初めて知りました。明日、不要品をもってきます。(70才以上女性)

ファイト オーです(10代男性)

地道な取り組みに敬意を表します。(30代女性)

ボランティアの方々の対応がとてもよかったです。(40代女性)

今年は、ボランティアで参加できませんでしたが、また次回参加したいです。(10代男性)

会員皆様様がきびきびとお働きとても好感がもてま

した。自分が寄付した品が売れ残っていなかったのほっとしました。

楽しかったです。またお世話になります。(60代女性)

毎回来てますが時間も長くて仕事帰りでもこれるので楽しかったです。少しでも協力できた事が嬉しい。(50代)

来年も是非やって下さい。ボランティアはどうやったらなれるんでしょうか?(10代女性)

今年はたくさん品物を出しました。残った品は1品です。良かったと想いました。来年も心がけて何かたくさんだせたらと思います。(50代)

とてもよい商品を安く買わせていただき、ありがとうございます。毎年来たいと思います。(50代女性)

ほしい品物が大変お安くうれしいのですが、なんか、すまないような気持ちもしています。ボランティア貯金を中郵でしてますが、このような催しは大変よいです。(60代女性)

発展途上国への援助は、私たちの務めです。NVCは新潟で一番大きいボランティア団体ですが、もう2~3個あっても良いと思います。(市内自営業男性)

若い人がたくさん、一生懸命やっているのを見ると、感激して応援したくなります。マラソンのように地道な活動だと思いますが、がんばってください。(市内主婦)

娘がスタッフをやっており、夫婦で来ました。自分でもできることはたくさんあると思います。(市内会社員)

参考に
ないです！

貴重なご意見

始めて来たのですが、思った以上に人が沢山いてびっくりしました。こんなに多くの方がバザーに来ているとは、とてもうれしい気分になりました。バザーの品物ですが、もう少し若い人向けの物が良かった方いいと思いました。難しいかもしれませんが、その方が幅広い年代の人々に来てもらえると思います。すごく活気があって、自分自身、刺激をもらったような気がしました。ありがとうございました。(少し迷ってしまったので、案内看板などが必要だと思う)(20代女性)

バザーによる資金づくりが重要なのもわかるのですが、せっかく大勢スタッフがいるようなのだから、もう少し広報活動に重点をおいてもよいと思いました。(バザー会場で、活動の主旨、活動の内容の報告を行うということですが)NGOの活動にかなり関心はあるのですが、いまひとつ参加に踏み切れない市民より。(20代女性)

規模が小さすぎる(手作りはいいが)地域の商店街の活発な参加などを促すのもよいのでは?年齢層が偏っている。若い人が少ない。若い人にとっても魅力的な商品を並べたら?若い人は衝動買いが激しいから絶対うれる!! Laos, Vietnamの民芸品をもっと増やす。そうすることによって彼らの"文化"も多少は理解しやすい。(20代男性)

テレビで見てやってるのは知っていましたが日時などは忘れていましたので、表で声をかけられなければわからないで通り過ぎたでしょう。場所は良いと思いますので、表でもっと呼び込みをしたらよいと思います。(50代女性)

NVCという組織があるのは知っていましたが、あんまり存在感を感じないので、派手なアピールを色々したらどうですか?(20代男性)

いくらチャリティといっても値が高すぎる。ついていける半値以下でよい。他のバザーものぞいてみるとよい。(60代女性)

市販の物より高いのが目立つ。(60代)

もう少し安ければいいと思った。オークションがおもしろかった。(60代女性)

値段の統一が見られない。買い手の前で値段を変えるともあまりいい気持ちがない。(30代女性)

同じ品物でも場所によって値段が違っていました。(30代)

何か珍しい食べ物や世界各地の物があるのかとか野菜や買いたいものが多いことを期待してきましたが、必要なものや買いたいものが何もなくがっかりしてしまいました。来年は来てもしかたないと思いました。もっと種類が多く必需品を揃えなければ意味がないと思う!(60代男性)

各家庭に呼びかけがあってもよい。(50代)

外国コイン等の募金コーナーがあれば、死蔵しているコインを持参するかも・・・(30代女性)

会場の入口がわかりにくかったので、わかりやすいように、ポスター等でもっと大きく書いてほしい。もっと品揃えを多くした方がいいと思う。(30代女性)

私も海外に赴任した機会があり、日本に帰ってきて思った事は、若い人の中でもこのように(違った型でもあれ)活動している人がいるが、日本のメディアシステムのせいか、もっと広告などに市や企業などと一体化し進んでいくべきだと思う。とても気持ちのいい取り組みだと思う。頑張ってください。(20代)

今回、テレビのニュースでバザーのことを知り、初めて来ました。NGOの活動には大変関心があります。ODAの無駄遣いを是正し、教育などの必要なものに向けてほしいものです。

NVCについては、もっと身近に感じられるようになってほしいと思います。Internet等を活用し、もっと呼びかけをしてみてもいいのでは?これからのNGOは経営感覚が大切。地域の自治会や学校を活用するなど、方法はいろいろあるはず。活動をさらに広げていくには専従スタッフが必要ですね。今のままでは、自己満足にも見えてしまう。(横越町会社員男性)

愛のかけ橋バザー
brief flow



愛のかけ橋バザーって、
どんなふうに運営されて
いるの？

集めてきた商品を会場
に搬入する（当日の4
日前から）



商品に値札をつける



（笑顔で）売る



会場を盛り上げる
（写真は、売場実況中継
の様様）



売上げを計算する
（楽しそう！）

この他にも、チラシの配布、昼食の炊き出し、オークションの運営、アンケートの配布、設営・撤去など、たくさんのお仕事があります。今年参加されなかった皆さんも、来年はぜひお待ちしております！

ベトナムスタディーツアー報告会

夏のスタディーツアーに参加した富山大学の学生さん達が、助っ人としてバザー会場に駆けつけ、ツアーの報告会も開いてくれました。そんな皆さんに、少しインタビューしてみました。

NVCのツアーに参加したきっかけは？

国際政治学ゼミの佐藤先生の紹介で、私たち教育学部と人文学部の5人が参加することになりました。

参加してどうでしたか？

実際に行ってみると、机の上で勉強していたことが「なるほど、こういうことか」という風に思えました。ゼミの先生も、「机上に留まらず、休みは海外（フィールド）へ」とおっしゃる方なんです。

今後はどんな活動を？

今度のマダガスカルのツアーにも参加したいと思っています。また、NVCに限らず、富山でも国際ボランティアの活動に参加したいです。私たちの中では、このツアーが大きなきっかけになっています。



ベトナムスタディーツアーの報告会（10/21 バザー会場にて）

「第12回愛のかけ橋バザー」大盛況に終える

ご協力ありがとうございました。

第12回バザー実行委員長代行 野水 和行（NVC副代表・国内事業担当）

今年で12回目を迎えた「NVC愛のかけ橋バザー」は、10月21、22日（土、日）の両日、新潟中郵便局体育館で開催され、多くの皆様からご支援をいただき盛況のうちに無事終えることが出来ました。今年もたくさんの商品、寄付金をいただきました企業、個人の皆様に深く感謝申し上げます。また、会場をはじめ全面的にご協力いただいた郵便局の皆様にお礼申し上げます。

今回ご提供いただいたバザー商品の数は、不況だった昨年よりも更に下回りましたが、例年通り「ご提供いただいた商品を1円でも高く買っていただく」ことを念頭に販売させていただいた結果、売上げ額2,289,050円、寄附金を合わせた合計額が3,076,314円という素晴らしい結果を納めることが出来ました。また、バザーにご来場いただいたお客様の数は、新潟県知事選挙と重なったものの2日間で2300名にも達しました。

毎回のことながら、今回もたくさんのボランティアの皆様からご協力をいただきありがとうございました。会員以外の一般市民をはじめ、東京からは早稲大学の学生、富山からは富山大学の学生が、地元では新潟大学、国際情報大学、新潟県立女子短大、県立豊栄高校の学生などたくさんの皆さんが駆けつけてくれました。会場内は若いエネルギーが響き、街頭では学生を中心とした若い人達が、バザーのチラシを配り呼び込みを行ってくれました。

今年のバザーの特徴をいくつか挙げると、まず、白根市の小林小学校の皆さんから「自分たちが作ったお米です。是非役立ててください。」とご提供いただいたこと、「NVCベトナム未来プロジェクト」に共感した静岡県の団体「クリエイティブ2021」から静岡の名産品、静岡メロン、お茶、うなぎパイなどの提供を受け特別コーナ

ーを設けたこと、高額商品についてオークションを行ない売上げアップを図ったことなどが挙げられます。更に特設ステージでは、初日に富山大学学生の皆さん、翌日は郵便局労働組合全連の皆さんがNVCスタディーツアー報告会を行ないました。バザー当日、ボランティアやスタッフの皆さんへ副代表多賀秀敏先生（国際事業担当、ベトナム未来プロジェクト実行委員長、早稲田大学教授）から、このバザーの趣旨と意義についてお話をいただき、高橋節子代表を中心に全員一丸でバザーに望みました。また、事前の企画段階でも例年以上に若い人達から建設的な意見がたくさん提案され実行に移されました。会場周辺の古町商店街へポスター掲示の依頼をローラ作戦で行ない、バザー1週間前の土日にはチラシ配布を古町通りで行ないました。こうした事前の行動が、来場していただいた数に結びついた要因の1つになったと考えます。

今回のバザーでは、会場設営が前日の夜9時から12時にかけて設営しなければならなかったこと、万全な準備と体制作りに係わっていただいた実行委員長の嶋田正義さんと財政担当の副代表嶋田真千子さんご夫妻が急なご都合で当日参加できなくなったことなどのハプニングがありました。会場設営については、郵便局職員の皆様のご協力をいただき夜間の突貫作業を行った結果、無事開催時間に間に合わせる事ができましたし、金庫番は、北村 泰会員が代役を務め、私が実行委員長の代役を務めさせていただきました。

今年度のバザーも表方で頑張ってくれた人、裏方で頑張ってくれた人、表裏一体となって盛況のうちに終えることが出来ました。ありがとうございました。そして今、「第13回NVC愛のかけ橋バザー」開催に向けて既に動き出しました。

「NVC地球を知る講座」 開催報告

関 一弥 運営委員

7月15日、新潟市総合福祉会館において開催。県立看護短期大学の渡辺 弘之氏に「ベトナムを知ろう、もっと知ろう」と題して、現況等について講演していただきました。今回は、ベトナムの現況に詳しい方から情報を教えていただき、今後の活動の参考にしたいという目的他に、ベトナムで活動している他のボランティアの活動について知り、連携を図っていけたらとの期待もありました。

渡辺氏は、ホーチミン市にある大学の日本語講師の経歴をお持ちで、現在では、ボランティア活動として「ベトナム・ハンセン病患者の交流プロジェクト」の事務局も努めています。そのため、例年、夏期や年末・年始休暇などに現地に長期滞在し、スタディーツアーの受け入れや研究活動を行っており、ベトナム語も流ちょうで、ホーチミンには自家用バイクもおいてあるとのことでした。

氏は、ハンセン病患者とのつながりや日常生活で出会った事例を紹介しながら「社会主義の悪い部分と資本主義の悪い部分が併存している。環境問題や貧富の格差拡大がますます大きな問題となることを心配している。」と冷静に現状分析するとともに、自分を惹きつけているベトナムの魅力について熱く語っていただきました。

「人口の都市への集中度がバンコクと比べ、まだ大きくないのでは。住民の移動制限は加えられているのか。」という質問に対して、「住民が登録証の所有を義務づけられており、記載してある居住地以外では正規な職に就けない。また、そこには両親の父親の出身地等も記載されており、南ベトナム政府軍関係者であった場合にはわかるようになっていない。」と回答。私の知人のベトナム人が「留学を希望しているが、父親が南ベトナム政府軍士官であったため省機関で認めてもらえない。」と話したことが裏付けられ、現地で生活した方だから得られる情報だと納得しました。

今後、交流プロジェクトとNVCとのスタディーツアーの相互乗り入れや共同事業等へとステップを進められたらいいなと考えています。

ベトナムミニプロジェクト（キー クワン寺洗濯機支援プロジェクト） 活動報告

小林 伸子 運営委員

7月30日、ひどく暑い日だった。長岡市社会福祉センターにて、ベトナムフェスティバルが開催された。キークワン寺盲学校への洗濯機支援を目的としたチャリティーイベントである。

1997年からNVCでは盲目の子供を対象にキークワン寺への支援が始まっていた。その翌年、私は矢吹会員と共に、お寺に併設する孤児院でホームステイを体験した。劣悪な環境の中でも明るく心優しい少年少女に、私達の心は強く打たれ、「知る事」の大切さを痛感した。帰国後も彼らとの思い出は強く心に残っていた。そして昨年、お寺では、毎日100人以上の子供たちの洗濯に追われている、という話を聞いた。ベトナムで洗濯機はまだ一般化していない。友達となった少年少女、言葉は全く通じなかったが心優しい施設の人達、・・・「洗濯機支援」、私と矢吹会員の間でいつしか話が持ち上がっていった。

今、考えれば本当に浅はかな企画だった。ただの思い付き、といってもいいくらいだ。当初、ベトナム料理を作るだけの小さなチャリティー交流



会を、友人のベトナム人に持ち掛けた。長岡技術科学大学ベトナム人留学生12名が集まり、私達に言った。「ベトナムの文化は料理だけではない、僕たちの文化を紹介したい。」その日から、彼らは勉強・アルバイトに忙しい中、練習に取り掛かった。プログラムは主役の彼らに任せた。そして私達は会場設定、広報活動、食材調達、会計などを受け持った。しかし今思うと、全て協力して行われたように思う。私達もベトナムの歌を必死に覚え、夜遅くまで彼らと共に練習した。そして会

場入り口を飾った竹の門は男性スタッフの力作だった。

当日は、目標の50人をはるかに上回る100人近いお客さんが会場に詰め掛けた。私達の不安をよそに、お客さんは好奇心いっぱいの顔つきだった。その事がスタッフを刺激したのか、全てが今までにない最高のできだったように思う。後に参加者の方に「五感を刺激され、素晴らしかった」と感想をいただいた。まるで大学の講義のような「ベトナムの歴史・文化」の紹介、そしてベトナム料理、ベトナム音楽、歌、アオザイショー。希望するお客さんはアオザイを着用した。ベトナム人



スタッフによるプログラムはパーフェクトだったようだ。そしてタイ人留学生の協力、多くのボランティアの人達。表には出ず、しかし強力な支えとなりフェスティバルを成功に導いてくれた事を、心から感謝している。私にとっても初めての経験

であり、スタッフ間での意見の相違、自分自身の統率力のなさなどに悩んだ事もあった。全てが経験し失敗しながら学び、しかし周りに支えられ、このイベントは開催された。そして会場隅に置かれた小さな募金箱には、趣旨を理解して下さった多くの方々から善意の募金がよせられていた。こうして私達の「思いつき」企画は、大成功という形で終了した。

しかし、まだプロジェクトは終わっていない。なぜならまだキークワン寺に洗濯機が届いていないからである。現在、NVCベトナムのリンさんにお寺との交渉を進めていただいている段階だ。フェスティバルでの売上、そして5月に出店したフリーマーケットの売上を加算し、お寺に最適な洗濯機を贈りたい。たくさんの善意を無駄にしないように。それが私達に課せられた最後の、そして重要な責任だと思っている。



クリエイティブ2021バザー 参加レポート

関 洋介 運営委員

西暦2000年8月、ベトナム・ホーチミン市で「ディン小学校」が開校しました。同小学校の建設はベトナム未来プロジェクトの中で最も新しい事業であり、開校式にはスタディーツアー参加者も出席しました。

今回建設にあたって、郵政省国際ボランティア貯金とともに、協力を頂いた団体が「クリエイティブ2021（以下C2021）」です。同団体は静岡県磐田郡福田町（ふくでちょう）の中高生を中心として活動しているグループです。メンバーはこれまで、県外の学生との交流、地元の福祉施設での体験などを通して諸問題を考えてきました。その中でアジアの学校建設に協力する計画を立て、昨年11月に行われた「Cバザー2021」の収益金40万円を建設費の一部に充てることにしたというわけです。

そして今年9月末、私は2回目のバザーを見る機会に恵まれました。バザー開始直前、事務局の「辰蔵さん」こと寺田さんを中心に、上級生が下級生に指示を出しながら準備を進めていきました。スタッフとして、町内の他のボランティア団体や郵便局職員の方も参加していて、和やかな雰囲気の中バザーが行われました。

収益金の使い道については「東南アジアの小学校建設に」となっているものの、明確な目標額はありません。そのためか、NVCのバザーに比べて値付けや広報面における改善点が多くあるようにも思われました。しかし、大人がサポートしながら中高生主体に活動するC2021の雰囲気は、市民団体が持つ「学習」の場としての魅力を、私に再認識させるものでした。今回開校式に出席できなかったメンバーは、「ぜひベトナムに行って学校を見たい」と口をそろえていました。そんな彼等を見ていて、今後も交流が続くことがお互いにとって意義深いことであることを確信しました。

ベトナムスタディツアー レポート

スタディーツアーを振り返る

富山大学教育学部生涯教育課程人間環境専攻
細川 拓也

私は今年の夏にベトナムスタディーツアーに参加させていただいた。私は海外に行くのも初めてだったし、スタディーツアーに参加するというのももちろん初めてのことで、それがどんなものか分からないままツアー当日を迎えた。

私は最初旅行とスタディーツアーの違いというものをはっきりとは分かってはいなかった。だから最初の内はベトナムについても旅行気分で行動しツアーの関係者のかたがたに様々な御迷惑をおかけしたし、たくさん勉強のチャンスを無駄にしたということで自分にとって不利益なことだった。

しかしスタディーツアーとはどういうものかを考えていくうちに自分の考えの甘さを痛感しこのツアーがやり方次第ではもっともと有意義なものになりうるのではないだろうかと思うようになった。

スタディーツアーは参加者が自分達で創りあげていくもので参加者の協力でどんなものにもなるということが、まず素晴らしいことだと思う。ただ旅行するだけではまず感じられないようなことを感じ、自分の人生の糧にすることができる。自分自身を大きくすることができる。

また、スタディーツアーでは、普通の旅行では見られないようなことを見て、普通の旅行では体験できないようなことを体験することができるのである。観光旅行で観光名所を見ることもとても楽しく素晴らしいことだと思うが、現地の人々の暮らしに触れることにより、その国の人々自身のこと考え、知ることができ、そして自分自身を振り返ることができるのだ。

このようなところが普通の旅行とはひと味違うところだと言えるのではないだろうか。日本に帰って来ると私の周りにも「今年の夏は外国にいった」という友達が何人かいた。しかし話してみると彼らの体験と私の体験はやはりひと味違ったものであった。どちらにもきつと良いところ



はそれぞれあるだろうが、私は自分の体験がとても有意義なものであったということを感じずにはいられない。なかなかできないようなことを経験できてとても良かったと思う。

なかなかうまく言うことができないのだけれど、普通の旅行にはないひと味違った経験ができる。もっともっと多くの人々がスタディーツアーに参加して素晴らしい経験をして、それでおかつアジアの仲間のことに関心を持ってもらえるようになれば素晴らしいなあと思う。



「にいがた地球市民フェスティバル」 参加報告

安達 実夏湖 会員

2000年10月18日、万代シティバスセンター2Fにて「にいがた地球市民フェスティバル2000」が行われ、NVCもブースを設け参加した。

フェスティバル内容は、エスニック料理販売、民族舞踊、コンサート、新潟の国際ボランティア団体のブースであった。しかし、ブースを設けるテント位置からか、参加客は各団体のブース前は素通りであり、ブース内にはほとんど人を呼び込めない状態であった。しかし中にはNVCの活動内容を熱心に聞いてくる参加客もいた。何かできることをしたい、ボランティア活動をしたいという参加客へのNVCの活動目的、活動内容の説明は、長くNVCに在籍している方たちのおかげで参加客へうまく伝わったと思う。これは、学生だけではうまくいかなかったと思う。学生は、ベト

ナム民芸品の売り子と「愛のかけ橋バザー」のチラシ配布をし、チラシは目標の300枚を超える配布枚数となった。今回の参加目的であるバザーの宣伝は十分に行えたと思う。

反省点はチラシ配布を重視してしまい、ブースに人を呼び込めなかったことである。NVCの活動内容、バザーの目的を説明したうえでチラシ配布が出来れば最良であったと思う。

しかし今回、このフェスティバルに参加したことにより、アピの会をはじめ他団体とのコミュニケーションを図ることも出来、良かったと思う。

今回、「にいがた地球市民フェスティバル2000」参加にあたり皆様から多くのご協力を頂き、無事終了することが出来ました。

また、今回チーフという大切な役を頂き、良い経験をさせて頂き、真にありがとうございました。



「新潟アジア文化祭2000」 に参加して

小野 裕子 会員

去る8月6日・7日に新潟ふるさと村で行われた新潟アジア文化祭に参加をさせていただきました。私たちNVCでは同フェスティバルの団体活動PRコーナーのテントの一角にスペースを頂き、活動紹介のパネルや写真等を飾り、またベトナムグッズや書籍の販売も行いました。

アジア文化祭は各国の料理が食べられる屋台や、アジアの音楽や踊りのショーがあったりと、華やかな雰囲気の中で行われたたくさんの方々が登場しました。また、私たち団体活動PRコーナーでも、多くの団体がアジアの雑貨などを売っており賑っていました。NVCは他の団体と比べると、物品販売より活動紹介に力を入れていたため、それほど多くの人をブースに呼び込むことが出来ませんでした。中にはパネルを見て下さったり、熱心に話を聞いて下さる方もいらっしゃいました。また、私たちも他の団体の活動等を知るよい

機会となりました。

このフェスティバルに参加するにあたり、特にNVCの活動を紹介するパネルの製作には、学生を中心に多くの人の手とたくさんの時間が費やされました。そのおかげで、素晴らしい活動紹介のパネルができ、そして「にいがた地球市民フェスティバル」や「愛のかけ橋バザー」などの際にも活用され、たいへんうれしく思っております。また、パネルの製作以外にも、当日暑いで手伝いをして下さった方など多くの人の手が加わり、その上で一つの企画が仕上がるということは、それだけNVCの活動に取り組んでくださる方が多いということであり、また国際協力という点をこの企画を通して実感することができ、とても感動しました。

最後に、この企画を一からずっと見守って下さった野水さんやパネルの製作をした学生、そして今回のフェスティバルの一連の作業に参加して下さった多くの方々に深く感謝を申し上げたいと思います。



お知らせ

掲載情報を募集します！

かけ橋を読者相互の情報共有の場として活用するため、掲載情報を大々的に募集します！国際交流やNPO全般について耳寄りな情報がございましたら、どしどしNVC事務局までお寄せください。

寄稿される場合、文字数は問いませんが紙面の都合で調整させていただく場合もあります。次回「かけ橋17号」は、総会後の6月下旬頃発行予定です。掲載情報は6月上旬までにお送りください。

リレー

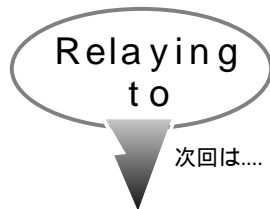
NVC's Human Network

瀧沢勇人さん(前回)からバトンタッチ

小林 伸子さん 運営委員(柏崎市)

約2年前、私は新潟県青年海外派遣団の一員としてベトナムを訪れました。国際ボランティアを学ぶというテーマもあり、私はNVCが支援する施設を訪れる機会を得ました。アジアを見たい観光ではない旅をしたい、と軽い気持ちで参加した研修で、私が見たものは計り知れません。決して十分ではない環境の中で、ベトナムの子供達は明るく力強く生きていました。小さな希望を見つけひたむきに生きる姿に、私はむしろ多くの事を教わったのです。しかし、私はラッキーでした。ベトナムで多くの事を感じた時、新潟には既にNVCがあったからです。初めてNVCの新年会に参加した時、印象的だった事がありました。書類の袋詰め作業です。会終了後、机

を寄せ合い、書類を封筒に入れる人、切手を貼る人、そういう流れ作業が、代表・副代表も含め全員で行われていました。既に大きなプロジェクトを幾つも手がけているNVCのその姿は、驚きでもあり、そして親近感を覚えました。今では見慣れた光景となりましたが、私がNVCに魅力を感じる一面でもあります。私にとってNVCは、'ボランティア活動'というより'自己啓発'の場であると思っています。学生さんから大先輩まで、普段出会う事のない方々にNVCというジョイントを通じ知り合い、そして多くを学んでいます。NVCを訪れるといつも新しい発見があります。これからもそのパワーを感じていきたいと思っています。



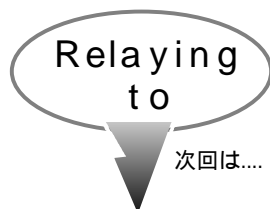
キークワン寺と一緒にホームステイし、VMP(キークワン寺洗濯機プロジェクト)でも共に活動中の公私共、深~いお付き合いの矢吹あゆみさんをお願いします。がんばり屋でかなりのしっかり者。最近、私より年上に見える事も!?

中谷和子さん(前回)からバトンタッチ

清水 智子さん 会員・元青年海外協力隊員(新潟市)

昨年の秋から行政で介護保険の仕事を担当しています。開始だけが決定されているのに中身が直前まで決まらないということで見切り発車のスタートでした。深夜まで及ぶ業務の中での問題は多々ありますが、なんとか制度開始から半年が過ぎようとしています。ひとつ感じることに、結果を早急に求められるということです。日本人の特徴でしょうか、青年海外協力隊でアフリカに赴任し、2年間の任期を終えて帰国するにあたり、現地の人からこんな声を聞かれました。「もう帰るのか。やっとアフリカの水が飲めるようになったのに、これからじゃないか。」「人の生活が変わるには最低10年はかかるぞ。」その言葉の重要性は痛いほど分かりました。関わる人は変

わるけど、現地の人にはそこに住み続け、生活していかなければなりません。一人の、一つの団体の思い付きの援助や活動がどのようにその現地の人に影響を与えることになるのか、どこまで責任をもってやられるか、それが無いようだったら極端に言えばやらない方がよいということになるでしょうか。自分の赴任していた地域には、その後3人の隊員が継続して活動しています。現地の様子などたまに手紙などで報告をもらいますが、自分の活動がどうだったか反省することが多いです。この業務が一段落(いつ普通の生活に戻れるでしょうか?)したら自分の目で確かめに行きたいと考えています。



次回はこの度国際交流の分野で新潟県知事賞を授与された新潟県青年海外協力協会の会長の藤田純子さんをお願いしたいと思います。

坂 有祈子さん(前回)からバトンタッチ

福永 憲昭さん 会員(新潟市)

学生時代を謳歌しよう!?

「それじゃ、この件は学生さんをお願いしようかしら」こういったせりふが運営委員会の場でよく発生する。学生たちは、その度ごとに戸惑う。そういう私もその中の一人である。私は新大の教育学部生である。実は、谷口良会員の直属(学科も同じ)の後輩にあたる。先ほどのせりふを彼女がよく口にするのも、新大の大先輩としてのご好意であろう。私の学生生活は呑気なものであり、あまり講義も真面目に受けていない。かつて『生涯学習概論』という講義を受講した。うる覚えであるが確か、1965年に成人教育の総括者であったポール＝ラングランがユネスコでおよそ次のような提案をしたそう。「人間の教育というもの

は、生涯のある時期にだけに限られるものではなく、生涯を通じてなされなければならない」と一人ひとりの自己教育を強調した。それは、地域社会の主体的な創造を担うそう。だとすると、NVCの社会人連中も生涯学習の実践者といえるのでは。日々、世界の情報を受信し、月に二度、学校町ビルの教室で受講生が集まって、あれこれ思考しながら議論をして、結論が出たら直ちに実践に移して、世界に発信していく。まるで、総合的学習のお手本だ。そうすると、NVCの社会人のみなさん。あなたたちもみんなれっきとした「学生」なのだ。と、そういわれると、青年時代まっぐらの活力がみなぎってきませんか? ねえ、谷口さん。



次のリレー走者は、私の後輩で新大国際ボランティアサークル代表の前野春樹君にお願いしました。彼の趣味は詩を詠み味わうこと。彼の座右の銘。「鮎 流れの中で生きていく 流されないで生きていく」。

宮 栄承さん(前回)からバトンタッチ

野水 和行さん NVC副代表・国内事業担当(新潟市)

宮 栄承さんからバトンを引き継いだ野水 和行です。宮さんお元気ですか? 「山登り」愉しんでいますか。毎年バザーと新年会でお会いしていたのに、今年はお仕事の関係か、バザーでお会いできなかったことが残念でした。でも、新年会でお会いしましょうね。バザーといえば、私が実行委員長当時宮さんがおられたので、郵便局へのお願い事項も安心してすることが出来ました。お陰様で、今では郵便局としっかりした信頼関係が築かれました。その後、長野に行ったり小千谷、新津、三条、長岡と1年毎に転勤され大変だったと思いますが、宮さんが落ち着いたら、また一緒に活動ができることを楽しみにしています。

総理府の海外派遣の関係で、多賀先生と出会い、NVC発足のときから仲間に加えていただき、素晴らしい人達と出会い、そ

して毎年新しい出会いがありました。無難な自分でも、メンバーの皆さんと一緒に国際社会のために少しでもお役に立てているとしたら大変ありがたいことです。NVC愛のかけ橋バザー実行委員長の時からは、本当に多くの人達からお力添えいただいたことを心から感謝しています。常にバザーでは、「1円でも高く買っていただき、商品を完全に売り尽くすこと」を目的に頑張ってきました。それが商品をご提供いただいた方々への感謝の一番良い表現だと思っています。お蔭様で、いつも200万円を超える売上げに結びついて参りました。またバザーは、NVCを一般の人達から知ってもらう一番大切な場所であり、NVCの一大イベントだと思います。普段活動に参加できない人達も、ぜひバザーに照準を合わせ参加して欲しいと思っています。



NVCのメンバーで変り種を紹介します。当時、地元テレビ局のディレクターでしたが、ある日突然に「今度学生になりました。」という。今、新大歯学部6年生の照光 真さん。立派な歯医者さんになってくださいね。照さんがだいが慣れたら患者としてお世話になります。落ち着いたら顔を出してください。

事務局 だより

バザーを振り返って

今年は高額商品が少なかったにもかかわらず、売上額を昨年並みに維持することができました。これは今年も参加してくださった309名の売り子さんががんばり、取り組みが年々練られてきていることと、マスコミの力もあって2日間で2,265人もの方が会場に足を運び、よく買ってくださったことにあります。新企画のアンケートにもよく答えていただきましたので、大いに参考にし、今後に生かしていきたいものと思います。

新潟日報にNVC会員の文と写真が掲載されています。

「国境のかけ橋～心の輪つなぐボランティア～」と題し、今年8月の第3日曜から隔週で新潟日報「ささえあい」の欄に掲載されています。半年間に渡って続く予定ですが、これまでに掲載された分をご紹介します。

第1回(8/20)

「小学校開校 役立った夫の香典返し」 NVC 藤崎千代子
写真「笑顔」/山井一緒(新潟市・フリーフォトグラファー)

第2回(9/3)

「キークワン寺盲学校 農場運営で自立への道」 NVC 小林伸子 写真「食事」/山井一緒

第3回(9/17)

「WHOは21世紀のカギ 市民パワー存分に発揮」 NVCアドバイザー 筒井昭仁
写真「スクール」/山井一緒

第4回(10/1)

「バザーで心の輸出 人助け好きな新潟の人」 NVCバザー実行委員長 嶋田正義
写真「みんな家族」/山井一緒

第5回(10/15)

「地域で人を育てる 参加し自分の力を還元」NVC学生会員 馬場隆史 写真「水遊び」/山井一緒

第6回(11/5)

「ベトナムに孤児の家を TV通し支援呼びかけ」NVCアドバイザー 三浦 真
写真「みんな仲間」/山井一緒

新年会予告

NVC恒例の新年会を2001年1月に行います。ただいま企画中ですが、内容は追ってお知らせいたします。友人知人ご家族を誘ってご参加ください。

カレンダー販売のお知らせ

今年のJVCカレンダー2001(NVCのロゴ入り)のテーマは、「MARKET MARKET」(市場彩彩)でとてもカラフルです。あと100部ありますので、どうぞお買い求めください。1部1500円です。

会費納入のお願い

会費は会の運営および事業に生かされています。うっかりされている方、今年度分未納の方は会費の納入にご協力をお願いいたします。

郵便振替口座番号 00660-2-21594 加入者名 NVC事務局